

# 龍谷富山高等学校 令和3年度 学校総合評価

## 1. 今年度の重点課題に対する総合評価

令和3年度は、6項目の重点課題を設定して目標達成に向けて取り組んだが、A（達成した）が0項目、B（ほぼ達成した）が3項目、C（現状維持）が3項目という評価となった。今年度も、新型コロナウイルス感染症のため行事の中止や縮小をよぎなくされ、教育活動が制限されたこともこのような評価になった一因と考えられる。

今年度は「龍富プライド A（挨拶）・K（感謝）・O（思いやり）」をスローガンとして、各方針に取り組んだ。各分掌のアクションプランは次のページ以降に記載するとおりであるが、重点課題と達成度の概要は以下ようになる。

教科指導については、家庭学習の定着に向けて、教科担当と担任との連携を図りながら課題の提供を行ったが、学習時間には大きな変化がみられなかった。課題の内容や提供方法について検討を要する。

宗教教育については、概ね計画通りに宗教行事を実施することができた。年間を通して礼拝時には、生徒の心に響く教員講話を実施することができた。

進路指導については、大学進学希望者に対して適切な進学情報の提供や個別指導により、新たに設けられた総合型選抜で公立大学合格者を出した。就職については、学校斡旋を希望するすべての生徒が12月までに内定を得ることができた。

生徒指導については、今年度も「いじめを許さない」、「県下一の挨拶」、「時間厳守」を重点課題として取り組んだ。大半の生徒は、良好な人間関係を築こし、さわやかな挨拶や時間にゆとりをもった行動を実践していた。しかし一部において、規範意識に欠けた行動がみられた。

特別活動については、生徒会執行部を中心として、校紀・美化・福祉の各委員会活動を活性化させることができた。また、生徒会活動や部活動との取り組みについて、様々な媒体を通して発信した。

環境と健康指導については、新型コロナウイルス感染症対策としての日々の消毒作業が、環境衛生に対する意識向上につながった。健康診断結果に基づく病院の受診率については、あまり高くなく「自分の命は自分で守る」という意識をさらに高める必要がある。

## 2. 次年度へ向けての課題と方策

具体的な課題と方策については、各分掌のアクションプランに記載されているが、全体として特に次の点を考慮して策定していく。

- ・新学習指導要領が新1年生より実施されるのに伴い、観点別学習状況の評価が始まる。学力の向上につなげるための「授業と評価の一体化」を進めていく。
- ・達成目標については、教職員が一体となって取り組んでいけるものにし、できるだけ具体的に明確なものとする。評価方法については数値化できるものは数値を記載する。